

国民平和大行進県内行進、SNS ニュース No.2

7月14日 実行委員会 事務局

7/14（木）2日目 南アルプス市役所、富士川町役場でセレモニー

トリアル駐車場でのスタンディングアピール活動

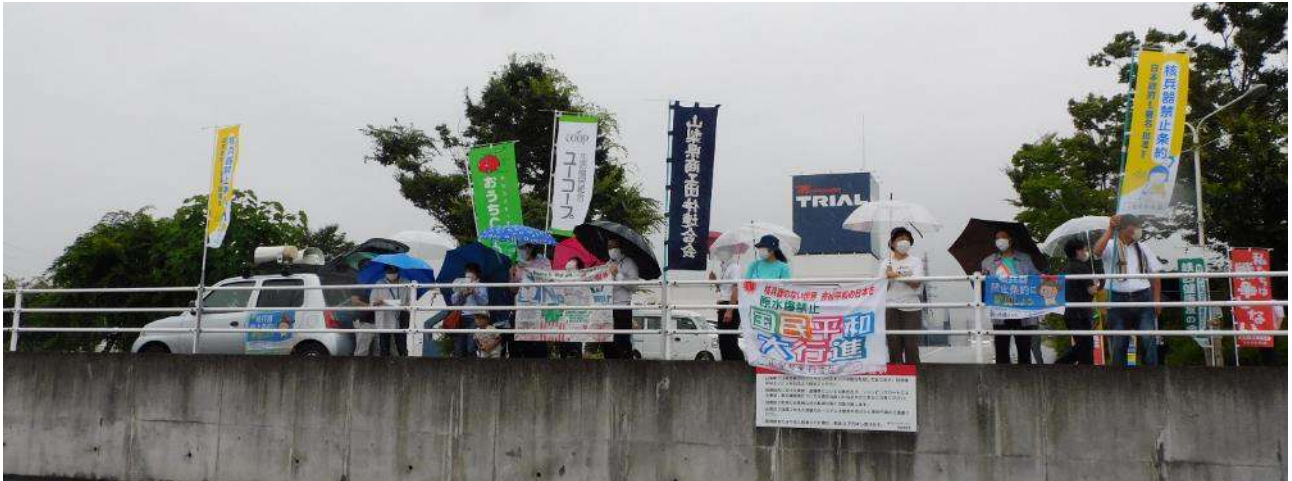
南アルプス市役所セレモニー

10時30分、開始前にお天気が崩れ、残念ながら雨の中での取り組みとなりました。

南アルプス市でのセレモニー参加者は、26名、職員5名。南アルプス市の金丸市長から激励のメッセージをいただきました。その後、金丸市長から山梨県内通し行進者の坂上玲子さんにペナントが進呈されました。坂上さんからはお礼と通し行進参加の思いが伝えられました。続いて、新婦人南アルプス支部の木下英美さんから平和の取り組みが報告されました。



トライアル駐車場横でのスタンディング・アピール



スタンディングでは、生活協同組合ユーコープの石井さん、土井さんから、締約国会議での「ウィーン宣言」に触れ、平和への願いとユーコープでの平和活動の報告がありました。続いて、南アルプス市の名取やすし市議会議員より、締約国会議に日本が未参加だったことを残念に思うことや、日本政府が禁止条約を批准するよう求める訴えがありました。

富士川町役場セレモニー

11時30分、富士川町役場でセレモニーが開催されました。富士川町役場では樋口一也課長より望月町長の激励のメッセージが紹介されました。その後、ペナントの進呈と募金が寄せられ、通し行進者の坂上玲子さんよりお礼の言葉が伝えられました。最後に、平和行進実行委員会参加団体のユーコープ 伏見孝文さんからあいさつがあり終了しました。式には、梨商連、峡西健康友の会、ユーコープなどから10名、職員5名が参加しました。

富士川町望月利樹町長のメッセージ全文を紹介します

富士川町 望月利樹 町長
= メッセージ =

2022年原水爆禁止 国民平和大行進 山梨県実行委員会の皆様、本日は、核兵器廃絶を訴える、国民平和大行進により、ここ富士川町にお越しいただき、心から敬意を表します。

この国民平和大行進は、1958年にはじまり、以来、被爆者の願いを結集しながら、被爆地広島、長崎をめざして、全ての都道府県を回られていると伺っております。

現在、世界に目を向けると、ロシアのウクライナへの侵略という、国際人道法に反する暴挙が毎日報道され、核戦争の危機が危惧されるなど、核兵器の存在は、世界平和に深刻な脅威となっております。

わが国は、唯一の被爆国として、再び、あの広島、長崎の苦しみを絶対に繰り返してはならないと痛感しているところであります。

本町では、平成22年9月、真の恒久平和を実現していくため、戦争の悲惨さと、核兵器廃絶を強く訴えるため、「核兵器廃絶平和都市宣言」をいたしました。

世界の恒久平和を願い、豊かな自然に恵まれた富士川町を次の世代に引き継ぎ、ここに暮らす人々の暮らしを守っていかねばならないと強く決意しているところであります。

結びに 本日の国民平和大行進に参加されております皆様のますますのご健勝とご活躍をお祈り申し上げ、また、この活動が全世界に広く伝わり、世界平和につながることをご期待申し上げ、あいさつといたします。

令和4年7月14日

富士川町長 望月利樹